学校番号	110

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究（理系）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『高等学校　古典探究』（数研出版）						
副教材等	・『新装版 新しい古典の学習 ２in１スタイル 学ぶぞ 古文と漢文』（尚文出版） ・『核心を学ぶ ベストスタイル古文単語３５１』（尚文出版） ・『新演習 古典 アチーブ２ 三訂新版』（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1.授業中は主体的な姿勢で学習活動に取り組み、分からない語句は辞書を引く。文法事項は文法書で調べる習慣をつけること。また、指示された内容について深く考え、自分の言葉で説明する努力をすること。
2.定期考査は返却後よく点検し、間違えた問題の原因を考え、その都度弱点を克服する姿勢を求める。
3.古典作品の中にあらわれる風習や人物の描写から、古典世界に生きた人々の生き方や考え方を想像し、興味を持って各作品と向き合ってもらいたい。

2　学習の到達目標

1.生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
2.論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高める。それとともに、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
3.言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、進んで古典に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	説話『十訓抄』 「大江山」	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート ワークシート 確認テスト グループワーク ワークの提出
	随筆『枕草子』 「御前にて人々とも」	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：一語の解釈の違いで発言全体の真意がどう変わるか粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート ワークシート 確認テスト グループワーク ワークの提出
	日記文学『更級日記』 「物語」	a：敬語動詞について学ぶ。現代の敬語との違いやどのような人物に敬語が使われるのかを理解する。 b[読]：「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート ワークシート 確認テスト グループワーク ワークの提出
	史伝『史記』 「剣舞」	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート ワークシート 確認テスト グループワーク ワークの提出
	物語『源氏物語』 「光源氏誕生」	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート ワークシート 確認テスト グループワーク ワークの提出
後期	物語『源氏物語』 「小柴垣のもと」	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c：積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート ワークシート 確認テスト グループワーク ワークの提出

	史伝『史記』 『四面楚歌』	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート ワークシート 確認テスト グループワーク ワークの提出
	歴史物語『大鏡』 「花山院の出家」	a：古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査	定期考査	ノート ワークシート 確認テスト グループワーク ワークの提出

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数
・読むこと　　…（　７０　）時間